

英文學評議

第 LXXXVI 集

論文

ドライデンのホラーティウス翻訳

——Epode II の場合—— 高 谷 修

顕微鏡的想像力の系譜 (1) :

——シャーロット・スミスと植物学—— 鈴 木 雅 之

誤解の構造

——『エマ』に関する物語論的考察—— 廣 野 由美子

『伝記物語』に見る作家の真実 丹 羽 隆 昭

アリス・ピンチョンの悲劇とホーソーンの人種意識 福 岡 和 子

翻訳

『1596年、エドマンド・スペンサー氏によりユードクサスと

アイリニアスの対話の形で書かれたるアイルランドの

状況管見』(2) 水 野 眞 理

京都大学人間・環境学研究科英語部会

編集後記

☆ 『英文学評論』第76集をお届けします。例年よりもやや大部なものになりました。ご寄稿いただいた先生方に御礼申し上げます。

☆ さて、大学の独立法人化を控えて、学内にも色々な動きがありました。昨年は、総合人間学部、大学院人間・環境学研究科ともに改組され、総合人間学部は従来の4学科制から1学科5系に再編されました。また人間・環境学研究科も3専攻に改組され、これにより学部から大学院への繋がりが従来よりもすっきりとした形になりました。また教官の所属も変わりました。基幹化にともない総合人間学部に所属していた教官は人間・環境学研究科に移籍しました。また共通教育の管理運営を行う全学共通教育機構が生まれ、数名の英語部会の教官が兼任で移籍しました。

このように、組織の改変にともない、『英文学評論』の発行の体制も変わりました。まず全員の所属する人間・環境学研究科英語部会が発行所となりました。また英米文学を専門とする者が中心となり、予算的にも責任をもって発行する形態に変わりました。このような時に、『英文学評論』を更に充実させるべく幾つかの提案がなされています。『英文学評論』も少しずつ変わってゆくものと思われまます。

☆ 英語部会の人事につきましては、昨年度、田地野彰助教授、ロバート・ファウザー助教授、および中森誉之助教授が赴任されました。

(編集委員)

英文学評論 第76集

非 売 品

平成16年2月20日 印刷

平成16年2月25日 発行

編 集 者 京都大学 大学院人間・環境学研究科 英語部会
代表者 前川 玲子

印 刷 所 株式会社 田中プリント
京都市下京区松原通麩屋町東入

発 行 所 京都大学 大学院人間・環境学研究科 英語部会
京都市左京区吉田二本松町

REVIEW OF ENGLISH LITERATURE

Volume LXXXVI February 2004

CONTENTS

Articles

Dryden's Translation of Horatius

—Épode II— Osamu TAKAYA

Genealogy of Microscopic Imagination(1):

Charlotte Smith and Botany Masashi SUZUKI

The Mechanism of Misunderstanding:

A Narratological Approach to *Emma* Yumiko HIRONO

Hawthorne's Truths in *Biographical Stories* Takaaki NIWA

The Tragedy of Alice Pyncheon and Hawthorne's Consciousness ... Kazuko FUKUOKA

Translation

*A View of the State of Ireland, Written Dialogue-wise
betweene Eudoxus and Irenæus, by Edmund Spenser Esq.
in the Yeare 1596 (2)*

Mari MIZUNO

ENGLISH DEPARTMENT
GRADUATE SCHOOL OF HUMAN AND ENVIRONMENTAL STUDIES
KYOTO UNIVERSITY